

## 宝満若杉カモシカ山行 ～夜通し歩いてみたら～

【報告者】 T橋

【日時】 2017年8月18～19日                      【天候】 晴れ（と思う）

【参加者】 T橋

### 《コースタイム》

政庁跡 2130－天満宮－竈門神社－宝満山 2345－三郡山 0040－前砥石－砥石山 0200  
－若杉山 0320－JR 筑前山手 0515

### 《 報 告 》

週末近場でのロングルートを考えて、どうしても夜間行動は避けられない。この道のベテラン塚寄さんにして「夜間行動は慣れ」とのこと。そもそも早寝早起きタイプの自分が、しかもごまかしの効かないソロだと一体どうなるのか。今回はいわば実験山行ということだ。

脊振全山で暗さを実感しヘッドランプを新調したが、竈門神社からの慣れた登りはあえて低モードで進んでみる。狭く薄暗い視界の中、ガサガサという音がこちらの様子を窺っているナニカのように聞こえる。ストックを打ち鳴らして進んでいると、水場で下ってきた男女4人組とすれ違った。こっちはホントの人間だった…。

0時前に宝満山頂。市内の夜景が綺麗に望めた。

ほとんど迷うところのない縦走路を進み、三郡山で再び夜景を見ながら小休止。さすがに昼間の暑さがウソのように涼しい。汗が出ない分、水分補給もそこそこで済む。

2時頃からか、視界がぼやけるようになる。明かりは十分なはずだが、眼が閉じかけているのか？ここで準備してきたスマホで音楽オン！覚醒する。

ショウケ越が近づくと、走り屋さん達のエンジン音が響いてくる。こんな夜中なのに…。しかし向こうも暗闇からこっちの音楽が聞こえてきたらビックリだろう。

若杉山への最後の登りがとても長く感じる。まだかまだかと思うと小さいアップダウンの繰り返しが堪える。ようやく着いた若杉山頂で大休止。下って自販機で補給しながら、腰や足首と相談して今回はこのまま下ることにする。

荒田高原からセラピーロードという名のただの車道を下り始めると、いつの間にか寝ていて、蛇行しながら歩いているのが分かる。車いなくて良かった。

補給予定のコンビニを確認しながら、明るくなり始めた中を駅に向かう。1番列車がやってくる。座ると爆睡してきつと起きられないだろう。家まで気を張って耐える、もうひとつの戦い(?)が始まった。